

## [第631回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和2年10月28日(水) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 ラジオ大阪 5F 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎  
たつみ 都志 鎌田 雅子  
萩原 章男 内田 透

放送事業者側出席者の氏名

吉田 禎宏 安東 義隆  
赤松 加枝子 竹内 啓

4. 議題

1) 番組審議 『新しいおとなの朝に 若宮テイ子のハッピー・プラス』

2) その他

## 5. 議 事 の 概 要

議題1) 『新しいおとなの朝に 若宮テイ子のハッピー・プラス』について、番組の企画意図と内容を説明し、番組を聴取した後審議に入った。

## 6. 審 議 内 容

社 側 『ハッピー・プラス』は50代男女をメインターゲットにした朝の情報番組です。“新しいおとな世代”とも呼ばれるこの世代の特徴は、年齢や社会経験を重ね、確固たる信念や趣味を持ちながら流行への感度も高いこと。そんな方々の朝の生活に寄り添い、放送を通じて毎日にハッピーをプラスする番組として2019年4月にスタートしました。

担当パーソナリティーは南かおり（月・火）慶元まさ美（水・木）若宮テイ子（金）。radiko やワイドFMでの聴取が増えている時代背景を見据え、OBCおよび他局の音楽番組のDJとしての実績を持つ“オトナ女子”3人を起用。良質の音楽をテンポよく紹介しながら、情報やトークもバランスよく配し、ゆったりとした気持ちで楽しめるよう構成。

※審議内容は2020年9月25日放送分です。

他局で数々の実績を持つベテランDJ若宮テイ子が担当。洋楽はじめ音楽への造詣が深いのはもちろん、リスナーを含む他者への愛に溢れた彼女ならではの言葉でリスナーの心をつかみ、まさに唯一無二のトークを展開します。週1回また週末金曜日の担当ということもあり、飢餓感や高揚感を持ってこの「金曜ハピプラ」に接しているリスナーを全国各地に有しています。文楽・人形遣いの吉田蓑紫郎さんへのゲストインタビューのほか人気の金曜オリジナルコーナー「リクエストプラス」も短縮バージョンでお届け。音楽もトークも盛りだくさんとなっています。

委 員 若宮テイ子さんは声が不思議な方。色々な声にチャレンジして2、3回聴いていると分かってくる。洞穴に声を出して反響を聴いているように感じた。色玉手箱では分析の根拠が欲しかった。吉田蓑紫郎さんのインタビューは、義太夫をたしなむ若宮さんだけあってツッコミも専門的で良かった。ただ時間が長いので放送時間が気になった。フォーマットがあれば構成が分かったうえで意見が出せる。

委員 若宮テイ子さんの癖が強くて、どう聴いてよいのか戸惑いがあった。長年、音楽番組をやってきた若宮さんにしては、放送する曲についての説明が不足している感があった。リクエストのコーナーでは邦楽ばかりでビックリした。でも50代のターゲット層にはピッタリだと思う。またゲストのところで、こんなに凄い人でもアルバイトをしないとイケないのが悔しい、と話されていて若宮さんの人柄を感じて良かった。全体的に今までにないテイ子節にやられた。良い悪いではなく、若宮さんにハマるかどうかだと思う。

委員 コーナーごとに様々な顔があり、「おもちゃ箱」や「ミックスジュース」みたいな番組。好奇心旺盛な若宮さんのバイタリティーが凄い。ただ悪く言えば「ごった煮」感がある。玉手箱のコーナーは、スピリチュアルのようなアドバイス内容が理解しにくい。朝からどうかと思う。「ハイヤングKYOTO」を聴いていた私としては、朝ロックのコーナーでは、音楽を語る、昔の若宮さん口調を思い出した。番組全体としては、ごちゃごちゃしているので、もう少し音楽を重視してほしい。

委員 若宮テイ子さんの若々しい艶のある声に魅かれる方はいると思う。一人一人に語り掛ける、参加を呼び掛けるスタイルは、また不思議なテンションは、聴き手を選ぶ。私は2回聴いたがハマらなかった。色玉手箱では、何をやっているか分かり難い。若宮さんに語り掛けられることを期待するファンにとっては楽しいものになるのでは。吉田蓑紫郎さんのインタビューでは、もう少しゲストの話聞く方が良い。プロに対しての押し付け感があり、困っていた感じがする。全体的に私にはハマらなかった。

委員 私と歳が近いので、曲の好みも理解できる。癖のあるしゃべりは、嫌な人もいるとは思う。慣れるのに時間がかかるが、悪くはない。義太夫も習っており色々な引き出しを持っている。玉手箱では、元気が出る人もいれば、ほんまかいなと笑ってしまう人もいると思う。オトナ女子の交換日記では、芝居気たっぷりでキャラが際立つ。ご自身の経歴を語るのは上手い。朝ロックのコーナーなどで、この番組が音楽番組と感じた。吉田蓑紫郎さんのインタビューでは、ツッコミが足りない。もっとむきにさせる質問をしてもよかった。トータルで失敗ではない番組だと思う。

委員 他局を見ると道上さんや浜村さんが同じ時間帯にいる。その中でOBCが女性パーソナリティーで、またトークだけではなく音楽で、違うかたちで勝負していこうという考え方は面白い。結果はどうであれ理解できる。オトナ女子というネーミングも良い。ありきたりじゃない。我々の世代よりも50代ぐらいの若い世代には合っている。トークをするFMに近い。ラジオの一人しゃべりで、手を振る感じなど、リスナーを引き込むのは彼女のテクニックとして素晴らしい。間の取り方も、本でいうと行間のような感じ。テレビの山は10人中10人が同じ山、ラジオは見えないので10種類の違う山。見えない部分をしゃべりで見せるのはラジオならではの。吉田蓑紫郎さんのところでは、若宮さんのトークで、文楽のイメージをラジオで見せていた。若宮さんはパワフルで古いおとな世代は疲れるが、50代ぐらいの世代では、共感できる部分もあり、面白い番組だと思う。総論としてOBCとして音楽をもっと重視して行くのも良いのでは。

社側 貴重なご意見、ありがとうございました。

以上

7. 審議会の答申又は改善意見に対してとった措置および年月日

な し

8. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- ・「番組審議会だより」 (第631回大阪放送番組審議会議事録の要約)  
「愛してラジオ大阪」 内で放送  
放送日 令和2年 11月 25日 (水) 23時20分～23時30分
- ・「番組審議会だより」 (第631回大阪放送番組審議会議事録)  
ラジオ大阪ホームページ (<http://www.obc1314.co.jp>) に掲載
- ・ 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。